

つくしが丘病院キャリアラダー

JNAラダー および
青森県立中央病院キャリアラダー 準拠

レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
採用1年目	採用2年目	採用3年目	採用4～9年目	採用10年以上
活動範囲 個人	チーム内	チーム内	所属部署内	所属部署内・外

レベル毎の定義

<p>①基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する</p> <p>②看護師としての基礎を確立する</p> <p>③自己の看護の課題を見出す</p>	<p>①標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する</p> <p>②看護師として自立する</p> <p>③自己の課題に積極的に取り組む</p>	<p>①ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する</p> <p>②チームリーダーとしての基礎を確立する</p> <p>③キャリアプランを立案できる</p>	<p>①幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する</p> <p>②看護活動のリーダーとしての基礎を確立する</p> <p>③キャリア開発に取り組み、役割モデルとなる</p>	<p>①より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する</p> <p>②高度な看護活動を実践し、役割モデルになる</p> <p>③研究活動を推進し、看護の質向上に貢献する</p>
--	---	---	---	---

求められる能力

看護実践能力

ニーズをとらえる力

ケアする力

協働する力

意思決定

組織的役割遂行能力

基本姿勢・役割・責任

リスクマネジメント

感染管理

経済性

自己教育・研究能力

看護実践能力

ニーズをとらえる力

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	助言を得て、ケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる
行動目標	<input type="checkbox"/> JNA・青森県立中央病院ラダー <input checked="" type="checkbox"/> 当院の旧看護実践能力評価表 <input checked="" type="checkbox"/> JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目				
	<input type="checkbox"/> ケアの受け手に必要な、身体的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる ★ケアの受け手の状態に合わせて、思考、気分、知覚、認知、記憶等の精神症状の観察をし、アセスメントができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な、身体的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報を基に、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる ★自傷、自殺、他害、転倒、誤嚥、意識障害などの緊急性のある状態を発見し、自立して対応できる ■患者の状態に合わせて、精神症状の観察をし、セルフケアにどの程度影響しているか自立してアセスメントができる。また、患者の症状の背景を推察し、患者の理解を深めることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手に必要な、身体的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる ★ケアの受け手の発達段階の課題、防衛機制、回復過程の段階、本人、家族の希望を踏まえ、退院調整に必要な情報を得ることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況判断のもと身体的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる ★ケアの受け手の問題だけでなく、ストレングスもとらえ、ニーズを包括的に考えることができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる ★地域全体を俯瞰して、ケアの受け手のニーズに対して不足している機能に気づき、多施設等に働きかけることで解決策を図る

看護実践能力

ケアする力

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	助言を得て、安全な看護を 実践する	ケアの受け手や状況（場） に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況（場） の特性をふまえた看護を実 践する	様々な技術を選択・応用し 看護を実践する	最新の知見を取り入れた創 造的な看護を実践する
行動目標	<input type="checkbox"/> 看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる ■ 情報収集した看護問題の解決に向けて計画立案・実践・評価し、記録ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況に応じた援助ができる ■ 専門的な知識・技術・態度を習得できる ★ 混乱や抵抗のある患者や日常生活能力の低下が著しい疾患の患者に対して、安全にケアができる ★ 患者の病状や場面に合わせたコミュニケーション技術を選択し、活用することができる ★ 行動制限を受ける患者に対して、必要なケアを考えて実施できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性に合わせ、適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映ができる ■ 専門的な知識・技術・態度を深め、根拠に基づいた看護実践ができる ■ 専門的な知識・技術・態度を深め、倫理に基づいた指導ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる ■ 看護過程の評価・監査ができる ■ 専門的な知識・技術・態度を深め、倫理に基づいた指導ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追求できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる ■ メンバーの力を最大限発揮できるように調整・指導ができる

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

看護実践能力

協働する力

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	助言を得て、関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
行動目標	<p><input type="checkbox"/> ケアの受け手を看護していくために必要な情報が無いかを考え、その情報を関係者と共有することができる</p> <p><input type="checkbox"/> チームの一員としての役割を理解できる</p> <p><input type="checkbox"/> ケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる</p> <p><input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる</p> <p><input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる</p> <p>★患者の退院に向けて必要な地域の社会資源を理解できる</p> <p>★他職種の役割を理解できる</p>	<p><input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解した上で、それぞれと積極的に情報交換ができる</p> <p><input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションをとることができる</p> <p><input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる</p> <p><input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる</p> <p>★治療に対する患者の思いを理解し、自立して医療チームに伝えることができる。服薬や行動制限などの治療においては患者の思いをくみ取り、治療やケアに反映できるよう情報共有できる</p> <p>★リカバリー概念を理解し、必要な資源を整えることができる</p>	<p><input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる</p> <p><input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換できる</p> <p><input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる</p> <p>★関係する他施設との看護師と連携、情報共有ができる</p>	<p><input type="checkbox"/> ケアの受け手がおかれている状況（場）を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる</p> <p><input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる</p> <p><input type="checkbox"/> 多職種の力を維持・向上させる関わりができる</p> <p>★関係する他機関との対応ができる</p>	<p><input type="checkbox"/> 複雑な状況（場）の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる</p> <p><input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる</p> <p><input type="checkbox"/> 関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる</p> <p><input type="checkbox"/> 目標に向かって多職種の力を引き出すことができる</p> <p>★多職種との連携において、関係機関との複雑な調整ができる</p> <p>★自施設に不足している機能に気づき、補完するために資源を活用できる</p>

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

看護実践能力

意思決定

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	助言を得て、ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
行動目標	<p>□ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる</p> <p>■接遇に配慮し、患者・家族とのコミュニケーションを取ることができる</p> <p>★患者の現実検討能力の状態をアセスメントできる</p> <p>★隔離や身体拘束など行動制限中の患者に対しては患者の不安や苦痛の程度を理解するよう努めることができる</p>	<p>□ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる</p> <p>□確認したい思いや考え、希望をケアに関連づけることができる</p> <p>★現実検討能力が向上する働きかけができる</p> <p>★隔離や身体拘束など行動制限を解除(最小化)するため、具体的な行動目標を患者に説明できる。</p> <p>★患者・家族、介助者の思いや考え・受け止め方などを意図的に聞くことができる</p> <p>★その人らしい生活や尊厳を考慮して、ケアに反映させることができる</p>	<p>□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる</p> <p>□ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる</p> <p>□ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる</p> <p>★患者や家族の意思決定に必要な情報を提供できる。さらに、患者や家族の疑問に適切に答え、説明を追加することができる</p> <p>★行動制限中の患者においては、人権に配慮して患者のニーズに応えられるようにチームへの働きかけができる</p>	<p>□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる</p> <p>★患者と家族がそれぞれ自ら意思決定できるように関わることができる。また、相互関係を理解し、調整役となり、必要時には多職種カンファレンスの開催を提案し、調整できる</p>	<p>□適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる</p> <p>□法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる</p> <p>■相手の話を傾聴し、真意を理解しようと努めることができる</p> <p>■日常業務で遭遇する倫理的問題について考え、対応できる</p>

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

組織的役割遂行能力

基本姿勢・役割・責任

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	指導を受けて、メンバーとしての行動ができる	①メンバーの役割を遂行し、指導を受けて日勤のリーダーとして、行動ができる ②レベルⅠの看護師に対して指導ができる	①指導を受けてチームのリーダーとして、行動ができる ②レベルⅠ・Ⅱの看護師に対して指導ができる	①所属部署のリーダーとしての役割を遂行できる ②レベルⅠ～Ⅲの看護師に対して指導ができる	①所属部署および所属部署以外においてリーダーとしての役割が遂行できる ②レベルⅠ～Ⅳの看護師に対して指導ができる

行動目標

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

<ul style="list-style-type: none"> □メンバーの一員としての役割と責任を果たす事ができる □業務の優先度を考え、計画を立てて行動することができる □接遇に配慮し、患者・家族とのコミュニケーションをとることができる □優先順位を踏まえ要点をまとめて報告ができる □倫理的問題に気づきプライバシーに配慮できる ★就業規則・職場のルールを守り、同僚・先輩・上司の助言・指導を真摯に受け止めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> □部署目標を理解し、自己の役割を踏まえ達成に向けた取り組みができる ★指導を受けながら、日勤のリーダーとしての役割と責任を果たすことができる □接遇に配慮し、患者・家族の思いを引き出すコミュニケーションができる ★業務の優先度を考え、計画を立てることができる □日常業務の中で倫理的問題に気づき、助言を得ながら対応できる ★就業規則・職場のルールについて説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> □部署目標を理解し、自己の役割を踏まえ、目標達成に向けた主体的な取り組みができる □チームリーダーの役割と責任を果たすことができる ★接遇に配慮し、患者・家族の自己決定支援に配慮することができる ★業務の優先度を考え、計画を立て行動することができる ■日常業務の中で倫理的問題に気づき、助言を受けながら対応できる ★人権擁護や権利擁護の視点において看護師の役割を理解できる ★就業規則・職場のルールを後輩に指導できる 	<ul style="list-style-type: none"> □看護部の目標を理解し、部署の目標達成に取り組むことができる ★リーダーシップを発揮し、総括的視点で、指示することができる ★接遇に配慮し、患者・家族の自己決定を支援することができる ★部署全体の状況と受け持ちチームの状況を知り、必要な調整ができる ■日常業務で遭遇する倫理的問題について考え、対応できる ■人権擁護や権利擁護の視点において看護師の役割を指導することができる 	<ul style="list-style-type: none"> □部署目標達成に向けて積極的に活動することができる □部署のリーダーとして他部門と連携することができる □接遇に配慮し、患者・家族の自己決定を推進することができる ★業務の優先度を考え、物事を判断することができる □いかなる状況においても責任をもって対応することができる
---	---	--	--	---

組織的役割遂行能力

リスクマネジメント

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	指導を受けて、安全確認行動が実践できる	事故発生リスクを考え、安全確認行動ができる	事故発生要因を分析し、安全対策行動ができる	所属部署の事故防止に向けた取組みを推進できる	所属部署の事故防止に向けた取組みを推進できる

行動目標

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

★事故防止・対応策ができる	■安全に対する知識を持ち、事故防止・対応策ができる	★事故防止・対応策を主体的に実践できる	★事故防止・対応策について指導ができる	★問題を予測し、事故防止・対応策の実践について、スタッフへ教育的にかかわることができる
★事故防止に向けた環境を整備することができる	★事故防止に向け、対象者の個性に合った環境を整備することができる	★事故防止に向け、対象者の個性に合った環境を主体的に整備することができる	★事故防止に向け、対象者の個性に合った環境整備について指導ができる	★危険を察知し、安全・安心で、対象者に合った環境調整を、チームとして行うことができる
★危険な状況下で、応援を呼ぶことができる	★危険な状況下で、応援を呼ぶことができる	★危険な状況下で、主体的に応援を呼ぶことができる	★危険な状況下における対処方法について指導ができる	★危険な状況下における対処方法について、体制を整えることができる
■緊急災害時に行動ができる	■緊急災害時は、助言を得て主体的に協働作業ができる	■緊急災害時は、主体的に協働作業ができる	■緊急災害時は適切な行動をとり指導ができる	■緊急災害時はリーダーシップを発揮し、行動することができる

組織的役割遂行能力

感染管理

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	指導を受けて、標準予防策ができる	感染経路を理解し、適切な対応が実践できる	感染拡大の要因を理解し、適切な対応が実践できる	所属部署の感染防止に向けた取組みを推進できる	所属部署および所属部署外の感染防止に向けた取組みを推進できる
行動目標	<input type="checkbox"/> 標準予防策を理解し、実施できる <input type="checkbox"/> 感染経路別予防策を理解し、実施できる	<input type="checkbox"/> 標準予防策を理解し、実施できる <input type="checkbox"/> 感染経路別予防策を理解し、実施できる	<input type="checkbox"/> 標準予防策を実施し、後輩に教示できる <input type="checkbox"/> 感染経路別予防策を実施し、後輩に教示できる	<input type="checkbox"/> 標準予防策を実施徹底するための活動ができる <input type="checkbox"/> 部署における感染経路別予防策徹底のための活動ができる	★標準予防策を実施徹底するための活動ができる ★部署および部署外における感染経路別予防策徹底のための活動ができる

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

組織的役割遂行能力

経済性

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	コスト意識を持ち、指導を受けて1日の業務計画を立案、実践できる	業務の優先度が理解でき、1日の業務計画が立案・実践できる	①管理の必要性について理解し、業務が遂行できる ②チームの1日の業務計画を理解し、実践できる	①病院経営に貢献できる ②所属部署での1日の業務計画を立案し、実践できる	①病院経営に貢献できる ②所属部署の業務の効率化のために、改善・提案をし、職員教育を推進できる

行動目標

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

<input type="checkbox"/> 診療報酬制度を理解できる <input type="checkbox"/> 患者の負担や費用対効果を考慮し、物品を適切に使用できる <input type="checkbox"/> 規定に沿って適切に医療機器・器具・看護用品を取り扱うことができる	<input type="checkbox"/> 看護に関する診療報酬の算定とその要件が理解できる <input type="checkbox"/> 患者の負担や費用対効果を考慮し、物品を適切に使用できる <input type="checkbox"/> 規定に沿って適切に医療機器・器具・看護用品を安全に取り扱うことができる	<input type="checkbox"/> 診療報酬制度を自主的に学び、理解できる <input type="checkbox"/> コスト意識を持ち物品を適切に使用し、後輩に教示できる <input type="checkbox"/> 適切・安全に医療機器・器具・看護用品を取り扱うことができ、後輩に教示できる	<input type="checkbox"/> 診療報酬における看護の役割を認識し、実践できる <input type="checkbox"/> 部署の課題を抽出し、改善できる <input type="checkbox"/> 部署で使用する医療機器・器具・看護用品の管理ができ、管理上の問題解決ができる	<input type="checkbox"/> 病院経営における看護の役割を認識し、実践できる <input type="checkbox"/> 費用対効果を考え、医療機器・看護用品・衛生材料の提案・導入・評価ができる
--	---	---	---	---

自己教育・研究能力

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の目標	<ul style="list-style-type: none"> ①看護実践を振り返り、自己学習できる ②指導を受けて、看護実践を通して自己の看護の課題を見出すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己の看護の課題に対して、積極的に取り組むことができる ②看護実践を通して、自己の看護の課題を見出すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己課題を明確にし、キャリアプランを立案できる ②研究的視点を持ち看護実践に活かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む、役割モデルとなることができる ②日々の看護実践の中で、研究に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画的・組織的に学習することができる ②研究活動を推進し、看護の質向上に貢献できる

行動目標

□JNA・青森県立中央病院ラダー ■当院の旧看護実践能力評価表 ★JNA・青森県立中央病院・当院以外のラダーを参考に抽出した項目

<ul style="list-style-type: none"> ■研修に参加し、特徴的な知識・技術・態度を主体的に学習できる ■学生実習について関心を持つことができる ■経験を通して、自己の看護観をまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■院内外の研修に主体的に参加し、視野を広めることができる ■受け持ち看護師として、学生指導に関わることができる ■ケーススタディのねらい・目的を理解し取り組み、今後の看護に活かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■看護専門職として自己研鑽し、専門性を高めることができる ■リーダーとして根拠に基づいた学生指導ができる ■看護研究の意義・目的が理解でき、研究メンバーとして取り組みができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■部署の学習会の企画・運営・評価ができる ■研修や看護研究・事例報告を通して看護実践を深めることができる ■スタッフや学生に対し看護過程の展開について指導できる 	<ul style="list-style-type: none"> ■部署の学習会の企画・運営・評価ができる ■研修や看護研究・事例報告を通して看護の専門性を深め、スタッフをサポートできる ■スタッフや学生に対し、個別性を重視した適切な指導や調整ができる
---	---	---	--	---